

柏市産業構造分析調査報告書・概要版

1. 調査概要

調査の背景

- ◆製造業は柏市の基幹産業のひとつ（市内売上高シェアは2番目）
- ◆市内製造業分野に事業所数や従業員数は減少傾向
- ◆柏市第五次総合計画において①魅力的な産業・事業所の育成、②付加価値の高い企業の戦略的誘致を目標として設定

調査の目的

- ◆市内既存企業が取り組むべき成長分野を把握し、ビジネスパートナーとなり得る親和性の高い企業を誘致するため、**市内産業の実情を把握する**
- ◆調査結果をもとに、市内製造業活性化に向けた方向性を検討し、平成30年以降に策定予定の「新・柏市産業振興戦略プラン（仮称）」の工業分野における具体的な**施策の基礎資料**とする

調査（現状分析）内容

（1）市外経済の分析

- ①国内における産業動向
- ②海外における産業動向

（2）市内経済の分析

- ①市内経済の概況および政策動向
- ②近隣市の取組状況
- ③統計データに基づく市内の産業構造
- ④郵送調査・訪問調査に基づく市内製造業の動向

2. 現状分析から明らかになった事項

① 国内外における成長産業

- ◆「AI・IoT・ビッグデータ」「ライフサイエンス・健康分野」への関心が高く、新興国ではマーケットの拡大も予測
- ◆これらの分野については、柏市内においても「スマートシティ」「健康長寿都市」「新産業創造都市」の実現に向けた取組が推進されており、2017年度末にはAIを産学官が共同研究する拠点が東大柏キャンパスⅡに設置予定

② 市内産業の実情

- ◆中小部材メーカーが集積する柏市において、販売額のシェア、市外への販売量、市内からの調達量等の定量分析結果より、**電気機械器具、食料品、金属製品等**の分野が本市製造業の中核となっている
- ◆市内製造業の**稼ぐ力、効率性はともに全国水準より低く、効率化等の余地が見られる**
- ◆市内中小事業者を取り巻く環境は**極めて厳しい**（小規模事業者ほど売上、従業員数ともに減少傾向）

③ 市内産業の発展に資する技術分野と成長要素

- ◆市内製造業が有望と考える成長分野は、「AI」「IoT・ビッグデータ」「ライフサイエンス・健康」と回答した事業所が半数以上
⇒国内外において注目されている成長産業、技術トレンドと一致
⇒具体的に想定される取組として、工場や機械の無人化、自動運転、商品開発、設計など、ルーチンワークの省力化に加え、創造的業務についてもAI、ビッグデータの活用が検討されている
- ◆成長産業分野へ取り組む際の問題・障壁は、「知識やノウハウの不足」「取り組むための『人材』『設備』『資金』の不足」と回答した事業所が多く、問題・障壁を取り除くための支援は、「パートナーとのマッチングに関する支援」「自社における取組方法のアドバイス・指導」と回答した事業所が多い

3. 課題と方向性

課題1 成長産業分野の誘致

（1）AI・IoT・ビッグデータ関連企業の誘致

- ✓ AI産学官連携拠点の動きと連携
- ✓ 市内に中小部材メーカーが集積している現状を踏まえ、最終製品を製造するような大手企業の誘致

（2）ライフサイエンス分野の中核となる企業の誘致

- ✓ 現状の市内のライフサイエンス分野の動きを加速させるような中核企業の誘致

課題2 成長産業分野及び関連分野への参入促進

（1）事業所間連合による対応スキームの構築

- ✓ 各事業所の強みを組み合わせることで多様なニーズが想定されるAI企業の試作品含むニーズへ対応するとともに、競争力の向上、付加価値創出等を企図
- ✓ 先進地域の事例を踏まえた「つながる製造事業所プロジェクト（仮称）」等、事業所連携による生産体制の構築
- ✓ 市内事業所間連携から東葛地域の広域連携も視野に取組

（2）成長産業分野への取組方法の周知／高度人材の育成

- ✓ 成長産業分野のセミナーや勉強会の開催
- ✓ 取組方策・事例等のとりまとめ
- ✓ 成長産業分野を牽引する高度人材育成のためのプログラムの検討

（3）マッチング機会等の創出

- ✓ マッチング、展示会等の技術を見てもらう機会、交流機会の創出
- ✓ 製造業一覧ツール等の検討

（4）産学官連携の更なる推進

- ✓ 柏市の強みである支援機関、研究機関の強みを活かし産学官連携を促進

課題3 本市製造業のイメージアップと人材育成

（1）ものづくりのまちに向けたイメージ戦略

- ✓ オール柏で「最先端ものづくりのまち、柏」「働くなら、柏」などのイメージづくり
- ✓ AI、IoT、ビッグデータ、ライフサイエンス等の分野のPR
- ✓ ブランディング、プロモーション等により、自ずと人や企業が集まるまちへ

（2）ベンチャー企業の誘致・育成

- ✓ 最先端が集まるまちとして、ベンチャー企業の育成やみずみずしい企業、若い企業等の誘致

（3）次世代を担う人材の育成／女性やシニア層の活用に向けた検討

- ✓ ものづくり産業に関わる課外授業などものづくり産業への関心を高めるための取組
- ✓ 成長産業分野の取り込みによる女性やシニア層が働きやすい環境や機会の創出

（4）既存の支援策のPRの強化と更なる充実に向けた検討

- ✓ 行政（市・県・国）、関係機関（商会議所、支援機関等）による既存支援策の一覧ツール等の作成
⇒補助金、税制優遇、融資、人材育成、マッチング、アドバイス等
- ✓ 成長産業分野に取り組むための新たな支援策の検討（ex.製造業版 KOIL等）

（5）まちづくりとの連携

- ✓ 居住環境の改善と良好な居住環境を含めたPR（ベンチャー企業、若い方は居住環境を重視）
- ✓ 旧工業団地のインフラの再整備
- ✓ 住工混在の解消に向けた検討

4. 今後の展望

短期（平成29年度以降）

- ◆成長産業のトピックスを注視しつつ、国や県、研究・支援機関との連携を強化
- ◆技術トレンド（AI、IoT、ビッグデータ、ロボット、ライフサイエンス等）の導入事例を視察
- ◆メーリングリスト等を活用した情報共有や意見交換

中期（平成30年度以降）

- ◆「新・柏市産業振興戦略プラン（仮称）」においてアクションプランとして具体的な取組を実行する
・重点項目…プラットフォーム（事業所連携）整備、戦略的情報発信、地域資源活用、AI研究開発拠点との協働、人材育成、女性&シニアの活躍等

長期（平成31年度以降）

- ◆成長産業を新規誘致するとともに、既存企業における取組を促すことで、柏市から持続的かつ高効率な「産業科学革命」を実現する
- ◆大きなアドバンテージであるポテンシャル（インフラの充実）を活かし、近隣市と連携して「最先端ものづくりのまち、柏」としてのイメージを確立する